

第25回食料・農業・農村政策審議会企画部会地球環境小委員会
林政審議会施策部会地球環境小委員会
水産政策審議会企画部会地球環境小委員会 合同会議

脱炭素社会に向けた農林水産分野の 基本的考え方について

平成31年2月27日
環境政策室

脱炭素社会に向けた農林水産分野の基本的考え方の検討

合同会議開催における検討の目的

- 今後、パリ協定長期成長戦略懇談会において戦略策定に向けた提言が策定され、当提言を踏まえ、政府としての長期戦略を策定する予定（時期未定）。
- そのため、食農審・林政審・水政審地球環境小委員会合同会議を開催し、脱炭素社会に向けた農林水産分野の基本的な考え方について検討・とりまとめをおこなうこととしたい。

合同会議においてご議論いただきたい点

- 地球温暖化対策の観点から、2050年以降の脱炭素社会に向けて、農山漁村における資源を最大限に活用し、農林水産業の脱炭素化を目指した農林水産分野の基本的考え方について

今後の合同会議のスケジュール

日程	項目
2019年2月27日	現在の排出状況等の説明 委員からの意見聴取
2019年3月19日	論点整理及び骨子案の提示 委員からの意見聴取
2019年4月中	とりまとめ策定

農林水産業の脱炭素化 及び 脱炭素型農林水産物の提供

○ 農林水産物の生産プロセスの脱炭素化

スマート農林水産業の加速に加え、農林業機械や漁船等の電化等の技術革新、再生可能エネルギーの利用により、農林水産業の脱炭素化を進め、農林水産業におけるエネルギー起源CO₂の排出を大幅に削減。

○ 農地・畜産の温室効果ガス

作物栽培や畜産に固有の生物学的プロセスにより排出されるメタン及び一酸化二窒素を、中干し期間の延長といった水田の水管理技術の普及や窒素肥料の削減、アミノ酸バランス改善飼料の普及等により削減・抑制等のこれまでの対策に加え、メタンの排出を抑制する家畜系統や、稲品種の開発、N₂Oの発生を抑制する資材や微生物等の開発等により大幅に削減。

○ 消費者への脱炭素型農林水産物の選択機会の提供

脱炭素型の生産プロセスで生産された農林水産物のラベリング等による消費者にわかりやすい形での提供、サプライチェーン全体の連携等、企業・消費者が脱炭素型農林水産物を選択する運動の推進。

○ 農山漁村における再生可能エネルギーの創出・利用及び域外・他産業への安定的供給

農山漁村に豊富に存在する資源をフル活用し、地域主導により再生可能エネルギー（バイオマス発電及び熱利用、小水力発電、営農型太陽光発電等）を創出し、農林水産業及び域内で活用。更に、農山漁村域外・他産業に供給することにより、我が国の温室効果ガスの排出削減に貢献。

○ エネルギー集約型マテリアルのバイオマス由来マテリアルへの転換の促進

アルミ、鉄鋼、樹脂等エネルギーを大量に消費して製造された材料の木材及びバイオマス由来マテリアルへの転換の促進等バイオマス資源の有効活用による炭素循環社会の構築。

世界の農林水産業からの温室効果ガス排出の削減

我が国の優れた農林水産分野における排出削減技術（AWD、農地土壌炭素貯留技術、REDD+等）を世界中に展開し、世界全体の温室効果ガスの排出削減に貢献。